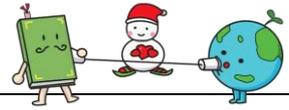


# 学習課題(小学校4年生)

## 【社会】



<学習内容>「アイヌ民族の昔のくらしと今につながる文化」

◆<sup>ちずちよう</sup>地図帳や学校で使っているしりょうなどをさんこうに、ノートや取組シートにまとめましょう。

(1) アイヌ語では、「川」のことを「ペツ」と言います。この音に読み方がにている「別」という漢字をつかう地名は、アイヌ語がもとになっています。地図帳 27～28 ページ、69～70 ページから「別」のつく地名を3こさがしてみよう。

※10 こ見つけることができれば、すばらしいです。

(2) アイヌ民族の生活と文化について下の( )にあてはまる言葉を  から選び、書きこみましょう。

- ・アイヌ民族は、山や海・川、木や草、けものや鳥・魚、人間がつくった道具など、身近ないろいろなものを( )と考えるきました。
- ・アイヌ民族は、木の皮や草から糸をとり、( )という着物をつくりました。このほか、動物の毛皮などを使った着物もありました。
- ・昔のアイヌ民族は、川の近くや海辺に、集まって住み、( )とよばれる集落しゅうらくをつくっていました。
- ・アイヌ民族の楽器には、口琴こうきんとよばれる( )げんがっきや弦楽器のトンコリなどがあり、美しい音色をかなでます。



ムックリ ・ アットウシ ・ 神 ・ コタン

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピッカコタン）では、アイヌ民族の歴史や文化について体験的に学習することができます。
- ・昔のアイヌ民族が自然を生かした生活をしていたことを理解するとともに、現在のアイヌ民族の生活は、日本に住む大多数の人々と変わらず、共にくらししていることを理解することが大切です。